新しい総合計画の策定に向けた

市民意向調査結果

平成 29 年 10 月

西　　脇　　市

目次

Ⅰ　調査概要……1

Ⅱ　調査結果概要

1　あなたご自身のことについて

問１　性別……2
問２　年齢……2
問３　居住地……3
問４　職業……4
問５　世帯構成……4
問６　通勤・通学先……5
問７　西脇市での居住歴……5

2　西脇市への定住意向について

問８　西脇市への定住意向……6
問９　住み続けたい理由……7
問10　転出したい理由……8

3　西脇市のまちづくりについて

問11　取組分野に対する満足度・重要度……9
問12　公共サービスと市民負担のあり方……13
問13　まちづくりにおける市民の役割……14

4　西脇市の人口減少について

問14　人口減少によるまちの課題 ……17

5　将来の西脇市のまちづくりのイメージについて

問15　まちが目指すイメージ……17

Ⅰ　調査概要

１　調査目的

本市の最上位の計画である総合計画が平成30年度に目標年度を迎えることから、平成28年度から新しい総合計画（第２次総合計画）の策定に取り組んでいます。新しい総合計画の策定に当たっては、市民の意向や意見を幅広く把握し、計画に反映していくことを重視する視点から、市民を対象としてアンケートを実施しました。

２　調査方法

調査名称	新しい総合計画の策定に向けた市民意向調査
調査地域	市全域
対象者	本市に住民登録を有する市民
対象抽出方法	住民基本台帳より18歳以上の市民3,000人を無作為抽出
回収数	1,099件
実施期間	平成29年９月

３　調査項目

１　あなた自身のことについて（回答者属性）	○性別・年齢・居住地・職業・世帯構成・通勤通学先・居住歴
２　西脇市への定住意向について	○西脇市に住み続けたいか ○住み続けたい理由、転出したい理由
３　まちづくりについて	○分野別のまちづくりへの評価（満足度） ○分野別の今後の重要度 ○公共サービスと市民負担のあり方 ○まちづくりにおける市民の役割
４　人口減少について	○人口減少で気になること
５　将来のまちづくり	○西脇市の将来像 ○まちづくりのキャッチフレーズ・キーワード
６　自由記述	○まちづくりへのアイデア・意見 ○自分がやりたいこと

３　分析についての注意点

・集計・分析においては、実数とともに、特記しない限り回答者総数（N＝1099）を母数とした出現率（％）を算出しています。
・集計結果において、出現率の値は全て小数点以下第二位を四捨五入して表記しているため、合計値が 100％にならない場合があります。
・「２つ以上を選択」の設問については、出現率の合計が 100％を超える場合があります。

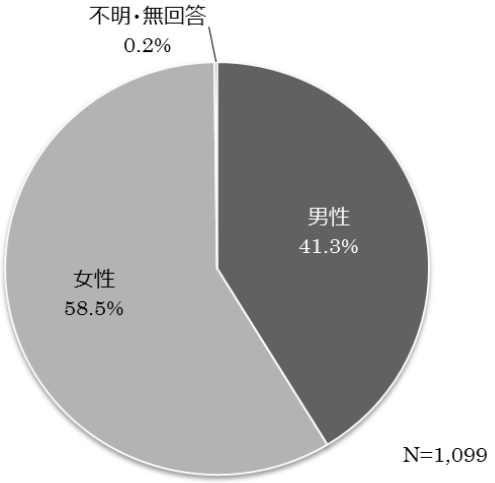
Ⅱ　調査結果概要

１　あなたご自身のことについて

問１　あなたの性別（SA）

１．男性
２．女性

男性からの回答が 454 件（41.3%）、女性からの回答が 643 件（58.5%）となっています。



問２　あなたの年齢（SA）

１．１０歳代	４．４０歳代	７．７０歳以上
２．２０歳代	５．５０歳代	
３．３０歳代	６．６０歳代	

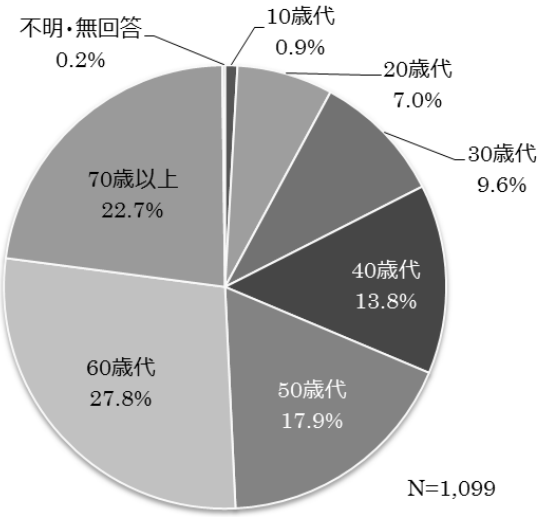
60 歳代からの回答が 306 件（27.8%）と最も多く、70 歳以上が 250 件（22.7%）でこれに続き、60 歳以上の回答がほぼ半数を占めています。

全体として、実際の年齢区分に比べ、年齢の高い層からの回答が多くなっています。

（参考）西脇市の年齢別人口

	人口	比率
18～19 歳	894	2.5%
20 歳代	3,773	10.7%
30 歳代	4,238	12.0%
40 歳代	5,612	15.9%
50 歳代	5,049	14.3%
60 歳代	6,247	17.7%
70 歳以上	9,501	26.9%
合計	35,314	100.0%

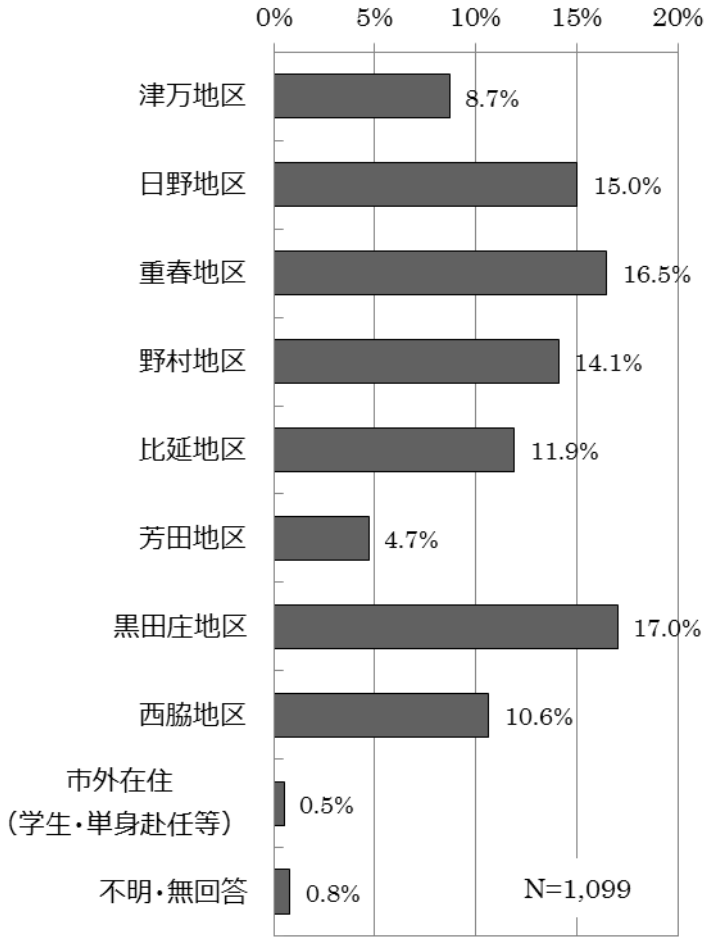
※平成 28 年 10 月 1 日現在住民基本台帳
※18 歳以上人口から算出



問３　あなたのお住まいの地区（SA）

１．津万地区	６．芳田地区
２．日野地区	７．黒田庄地区
３．重春地区	８．西脇地区
４．野村地区	**＜西脇市と西脇地区の混同に注意！＞**
５．比延地区	９．市外在住（学生・単身赴任等）

※地区の名前が分からない場合は町名を記入 ⇒（　　）



実際の地区別人口と比較すると、重春地区で実際の人口に比べて回答者の比率がやや高くなっている（人口 14.8%→回答者比率 16.5%）一方、野村地区ではわずかに低くなっている（人口 17.2%→回答者比率 14.1%）といった差はみられますが、全体としては実際の人口に概ね近しい回答者比率が得られています。

（参考）西脇市の地区別人口

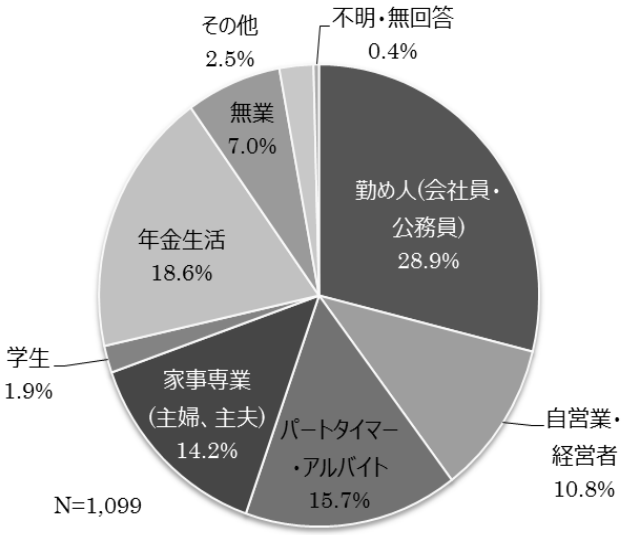
	人口	比率
津万地区	4,912	11.8%
日野地区	6,616	15.8%
重春地区	6,195	14.8%
野村地区	7,182	17.2%
比延地区	3,949	9.5%
芳田地区	2,013	4.8%
黒田庄地区	7,008	16.8%
西脇地区	3,890	9.3%
合計	41,765	100.0%

※平成 28 年 10 月 1 日現在住民基本台帳
※全人口から算出

問４　あなたの主な職業（兼業の方は主たる職業について、お答えください。）（SA）

１．勤め人（会社員・公務員）	５．学生
２．自営業・経営者	６．年金生活
３．パートタイマー・アルバイト	７．無業
４．家事専業（主婦、主夫）	８．その他（　　）

勤め人が 318 件（28.9%）と最も多く、以下、年金生活者 204 件（18.6%）、パートタイマー・アルバイト 173 件（15.7%）、家事専業 156 件（14.2%）、自営業・経営者 119 件（10.8%）がそれぞれ 10%以上で続いています。

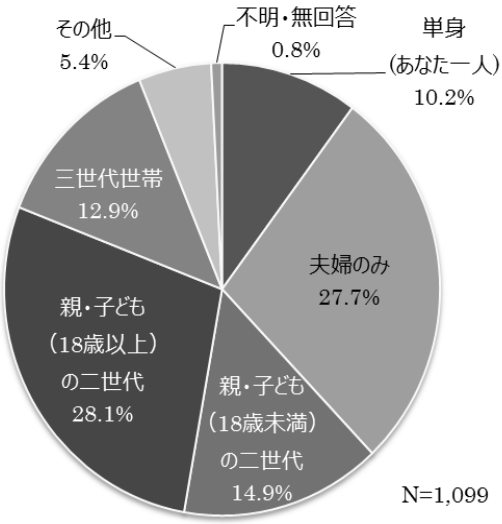


問５　世帯構成（SA）

１．単身（あなた一人）	４．親・子ども（18歳以上）の二世代
２．夫婦のみ	５．三世代世帯
３．親・子ども（18歳未満）の二世代	６．その他（　　）

世帯構成では、親・子ども（18 歳以上）の二世代が 309 件（28.1%）、夫婦のみ 304 件（27.7%）がそれぞれ 3 割近くを占めています。

親・子ども（18 歳未満）の二世代（14.9%）と三世代世帯（12.9%）を併せ、二世代以上の回答者が半数を超えています。

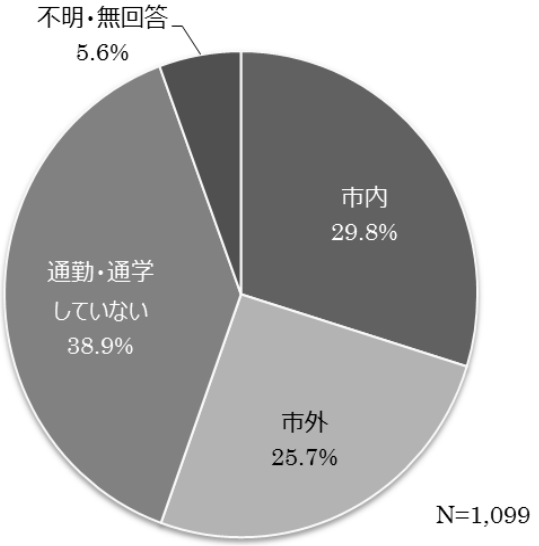


問６　通勤・通学先（SA）

１．市内 ２．市外 ３．通勤・通学していない

通勤・通学している人が 610 件（55.6%）と半数を超えています。

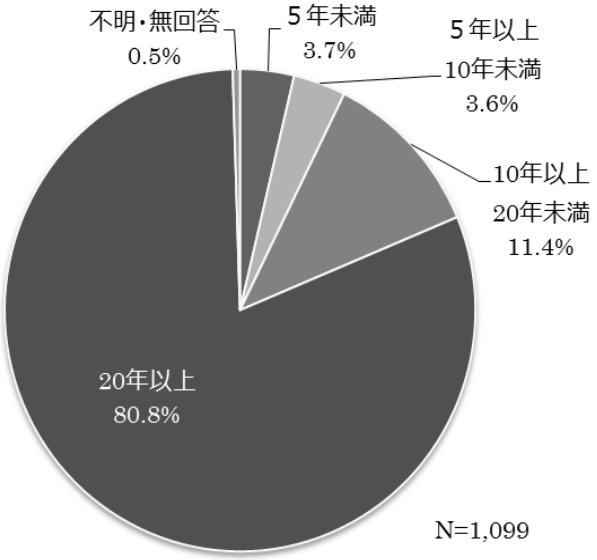
通勤・通学先の市内・市外の割合はほぼ半数となっています。



問７　西脇市での居住歴（SA）

１．５年未満 ２．５年以上１０年未満 ３．１０年以上２０年未満 ４．２０年以上

回答者の年齢構成が人口構成に比べてもやや高いこともあって、居住歴が 20 年以上の回答が 888 件（80.8%）に達しており、5 年未満（3.7%）や 5 年以上 10 年未満(3.6%)の割合は小さくなっています。



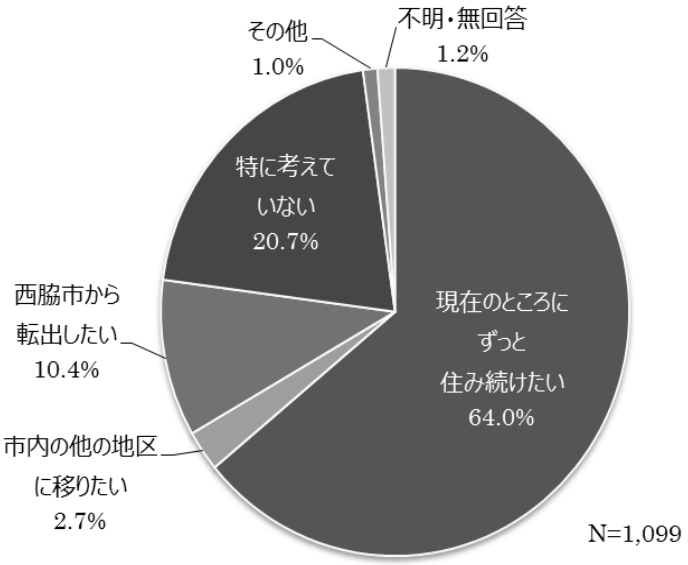
２　西脇市への定住意向について

問８　あなたは、これからも西脇市に住み続けたいと思いますか。（SA）

１．現在のところにずっと住み続けたい → **問９へ**進んでください
２．市内の他の地区に移りたい
３．西脇市から転出したい → **問１０へ**進んでください
４．特に考えていない
５．その他（具体的に　　）

「現在のところにずっと住み続けたい」703 件（64.0%）と「市内の他の地区に移りたい」30 件（2.7%）を併せて、市内への定住意向は 7 割近く（66.7%）となっています。

「西脇市から転出したい」は114件（10.4%）でおよそ 1 割程度にとどまっています。

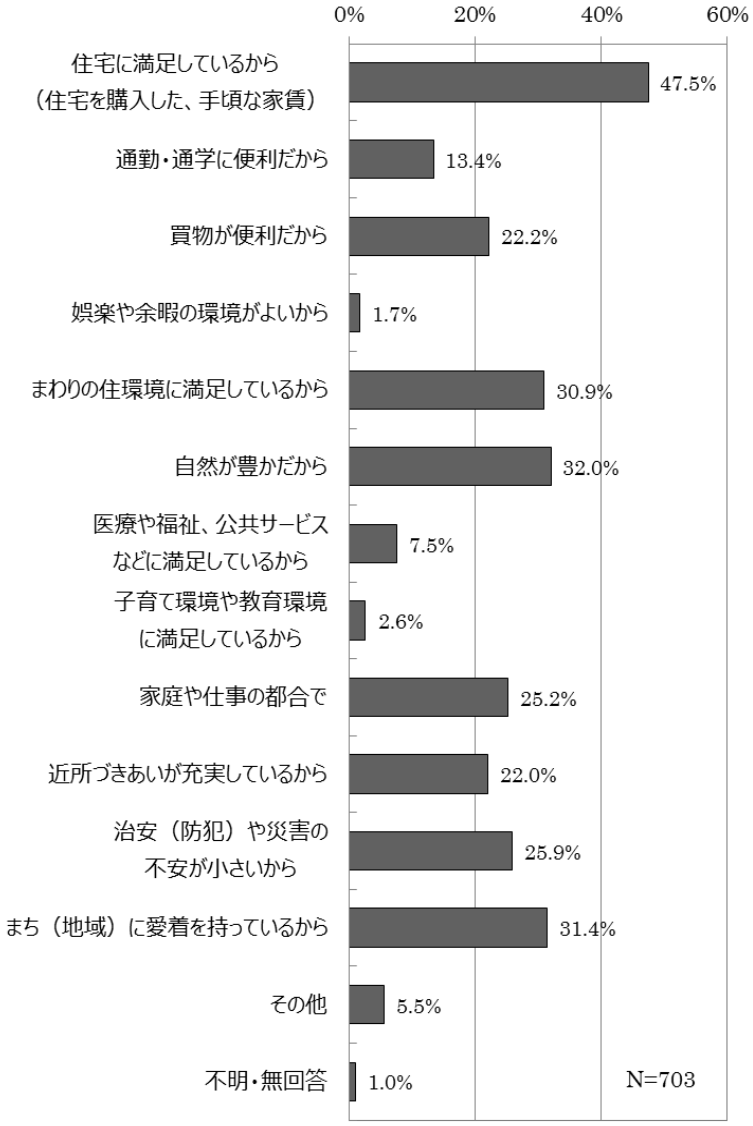


問９（問８で「１．現在のところにずっと住み続けたい」とお答えの方のみ）住み続けたい理由はなんですか。<u>あてはまる番号を３つまで選んで</u>ください。（MA）

１．住宅に満足しているから（住宅を購入した、手頃な家賃）
２．通勤・通学に便利だから
３．買物が便利だから
４．娯楽や余暇の環境がよいから
５．まわりの住環境に満足しているから
６．自然が豊かだから
７．医療や福祉、公共サービスなどに満足しているから
８．子育て環境や教育環境に満足しているから
９．家庭や仕事の都合で
10．近所づきあいが充実しているから
11．治安（防犯）や災害の不安が小さいから
12．まち（地域）に愛着を持っているから
13．その他（具体的に　　）

問８で「現在のところにずっと住み続けたい」と答えた703 件にその理由を尋ねたところ、「住宅に満足しているから」を選んだ回答者がほぼ半数の 334 件（47.5%）と最も多くなっています。

以下、「自然が豊かだから」（225 件 32.0%）、「まちに愛着をもっているから」（221 件 31.4%）、「まわりの住環境に満足しているから」（217 件 30.9%）、「治安や災害の不安が小さいから」（182 件 25.9%）が続いています。



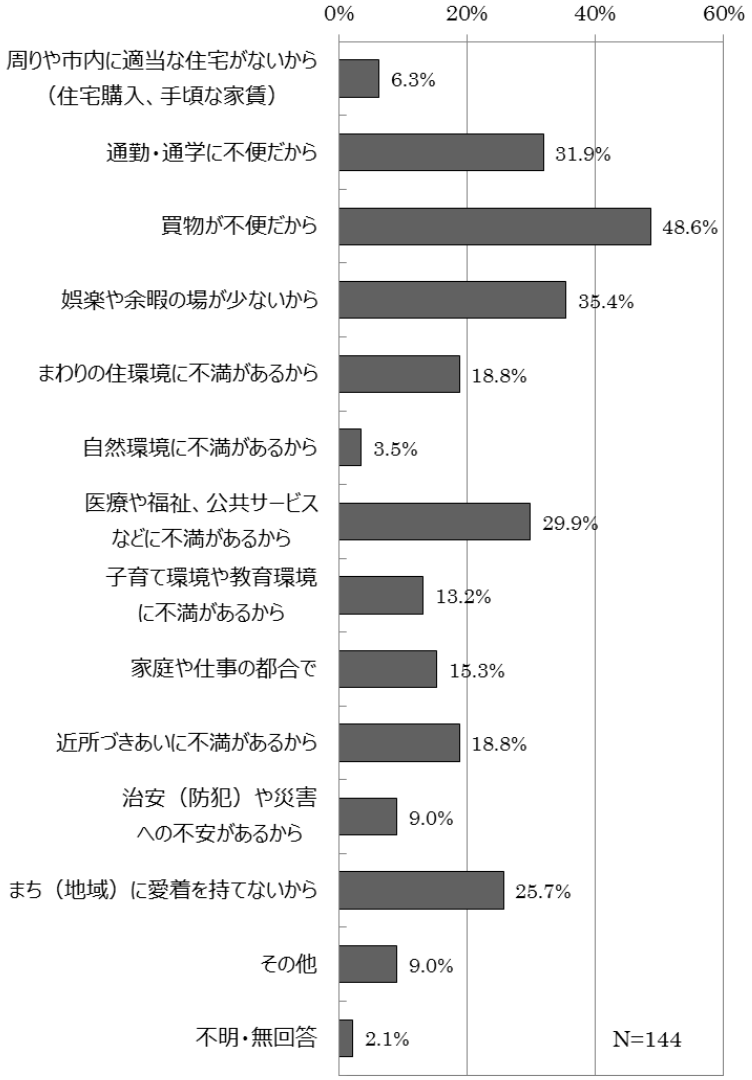
問 10（問８で「２．市内の他の地区に移りたい」「３．西脇市から転出したい」とお答えの方のみ）

移り住みたい理由はなんですか。当てはまる番号を３つまで選んでください。（MA）

１．周りや市内に適当な住宅がないから（住宅購入、手頃な家賃）
２．通勤・通学に不便だから
３．買物が不便だから
４．娯楽や余暇の場が少ないから
５．まわりの住環境に不満があるから
６．自然環境に不満があるから
７．医療や福祉、公共サービスなどに不満があるから
８．子育て環境や教育環境に不満があるから
９．家庭や仕事の都合で
10．近所づきあいに不満があるから
11．治安（防犯）や災害への不安があるから
12．まち（地域）に愛着を持てないから
13．その他（具体的に　　）

問８で「市内の他の地区に移りたい」「西脇市から転出したい」と答えた 144 件にその理由を尋ねたところ、「買い物が不便だから」を選んだ回答者がほぼ半数の 70 件（48.6%）と最も多くなっています。

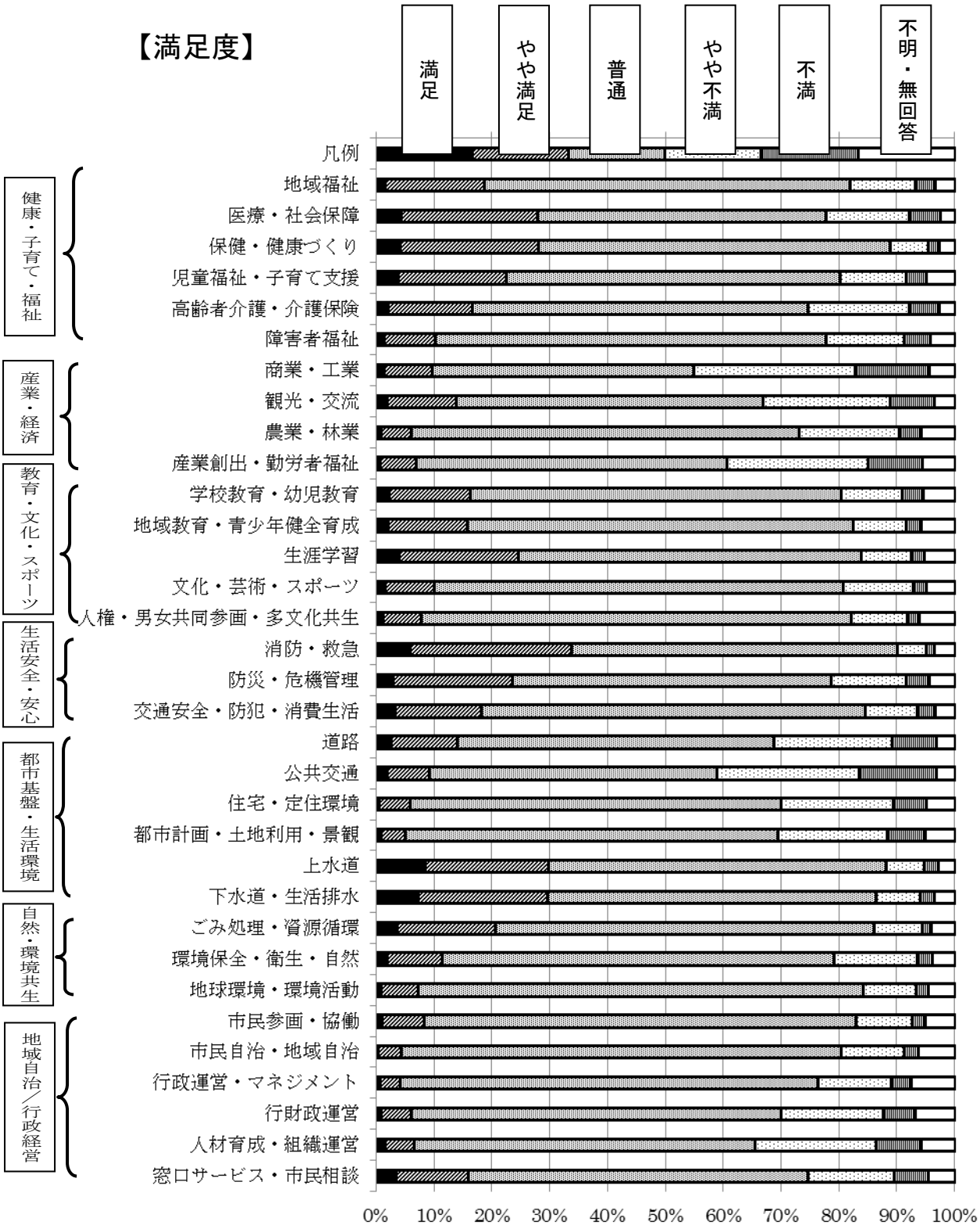
以下、「娯楽や余暇の場が少ないから」(51 件 35.4%)、「通勤・通学に不便だから」（46 件 31.9%）、「医療や福祉、公共サービスなどに不満があるから」（43 件 29.9%）、「まちに愛着が持てないから」（37 件 25.7%）が続いています。



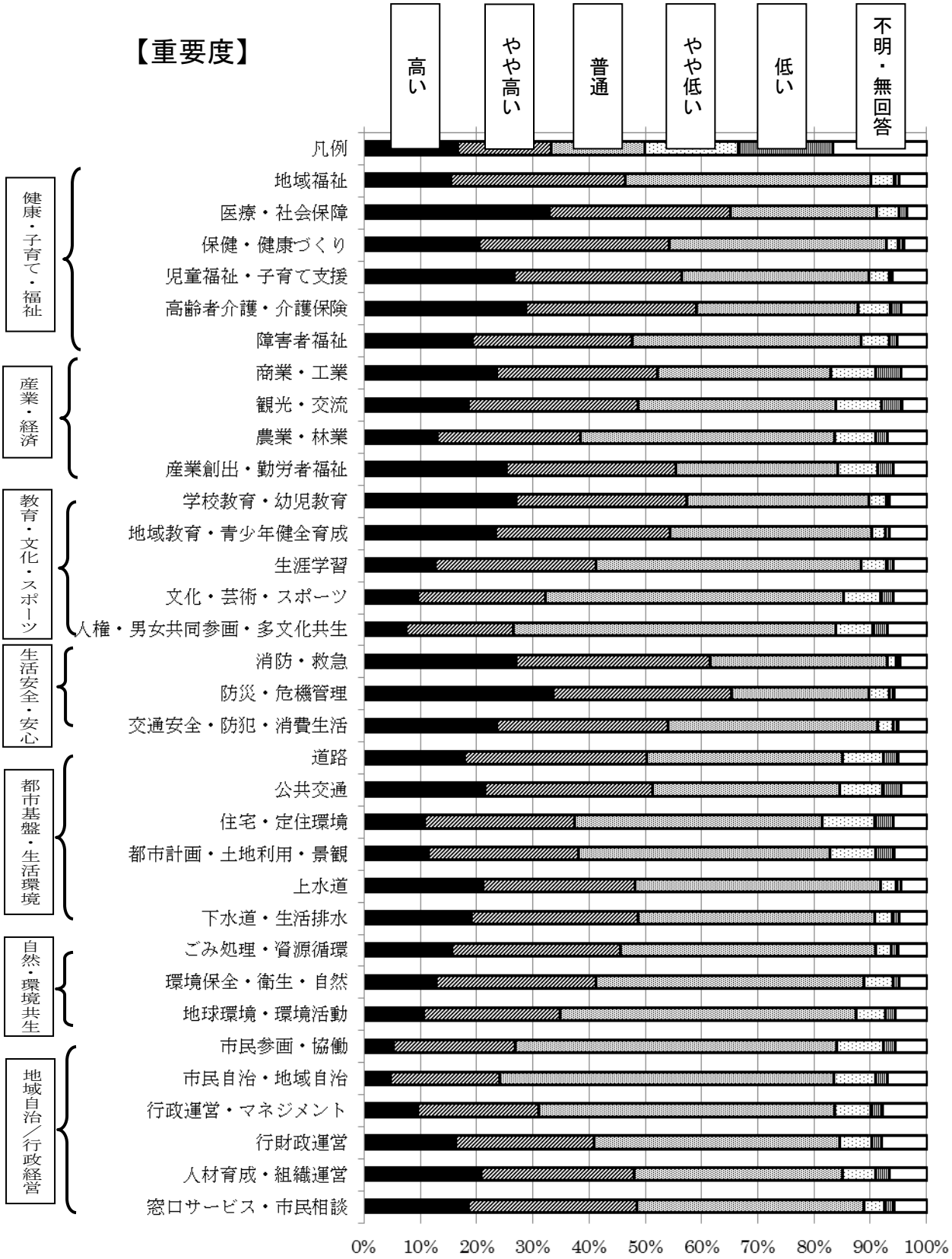
３　西脇市のまちづくりについて

問11　あなたは、西脇市のまちづくりや取り組みの各分野・項目について、現在どの程度満足していますか。また、将来に向けた取組に当たって、どの程度重要だと思いますか。

次の(1)～(33)の各項目に対して、 現在の満足度 と 今後の重要度 について、それぞれ今のお気持ちに最も近い番号を「５～１」の中から１つずつ選んで○をつけてください。（SA）



【重要度】


高い
やや高い
普通
やや低い
低い
不明・無回答
凡例
健康・子育て・福祉
地域福祉
医療・社会保障
保健・健康づくり
児童福祉・子育て支援
高齢者介護・介護保険
障害者福祉
産業・経済
商業・工業
観光・交流
農業・林業
産業創出・勤労者福祉
教育・文化・スポーツ
学校教育・幼児教育
地域教育・青少年健全育成
生涯学習
文化・芸術・スポーツ
人権・男女共同参画・多文化共生
生活安全・安心
消防・救急
防災・危機管理
交通安全・防犯・消費生活
都市基盤・生活環境
道路
公共交通
住宅・定住環境
都市計画・土地利用・景観
上水道
下水道・生活排水
ごみ処理・資源循環
自然・環境共生
環境保全・衛生・自然
地球環境・環境活動
地域自治／行政経営
市民参画・協働
市民自治・地域自治
行政運営・マネジメント
行財政運営
人材育成・組織運営
窓口サービス・市民相談
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%

■　満足度・重要度の上位項目

【満足度上位】

選択項目	比率
16　消防・救急	３３．８％
23　上水道	３０．０％
24　下水道・生活排水	２９．７％
3　保健・健康づくり	２８．１％
2　医療・社会保障	２８．０％

【重要度上位】

選択項目	比率
17　防災・危機管理	６５．４％
2　医療・社会保障	６５．１％
16　消防・救急	６１．６％
11　学校教育・幼児教育	５７．３％
4　児童福祉・子育て支援	５６．５％

※満足度は「満足」「やや満足」の合計、重要度は「高い」「やや高い」の合計上位の項目

【満足度】

全ての項目で「普通」の比率が最も多く、また、「(7)商業・工業」(45.2%) 及び「(20)公共交通」(49.9%) の 2 項目を除く 31 項目で半数を超え、概ね満足度は中立的な評価を示しています。

「(16)消防・救急」をはじめ、「(3)保健・健康づくり」や「(2)医療・社会保障」など安全・安心に関する項目、「(23)上水道」「(24)下水道・生活排水」など生活インフラに関する項目などで満足度が比較的高くなっています。

【重要度】

総じて現状の満足度に対して、多くの項目で重要度を「(普通以上に) 高い・やや高い」と判断する回答が多くなっています。

「(17)防災・危機管理」をはじめ、「(2)医療・社会保障」「(16)消防・救急」など、安全・安心を重要と考える意見が上位を占めています。また、「(11)学校教育・幼児教育」「(4)児童福祉・子育て支援」など、子ども・子育てが重要とする意見もこれに続いています。

【参考／係数ポイントでみた場合の満足度・重要度の上位項目】

【満足度上位】

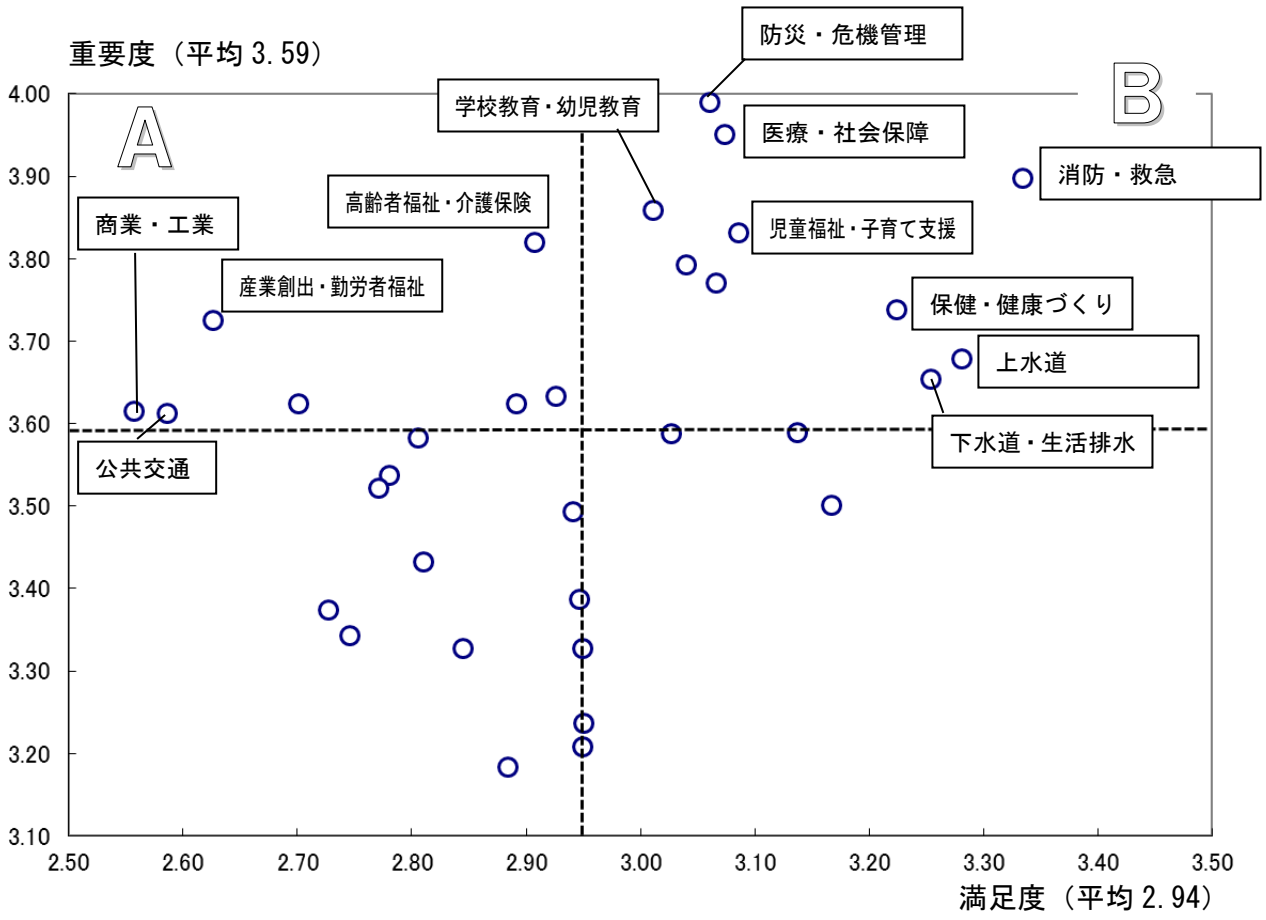
選択項目	満足度
16　消防・救急	3.33 点
23　上水道	3.28 点
24　下水道・生活排水	3.25 点
3　保健・健康づくり	3.22 点
25　生涯学習	3.17 点

【重要度上位】

選択項目	重要度
17　防災・危機管理	3.99 点
2　医療・社会保障	3.95 点
16　消防・救急	3.90 点
11　学校教育・幼児教育	3.86 点
4　児童福祉・子育て支援	3.83 点

※「係数」は満足度においては「満足」に５点、「やや満足」に４点、「普通」に３点、「やや不満」に２点、「不満」に１点の係数をかけ、母数（選択した回答者の数）で割って平均したもの。重要度については同じく「高い」に５点から「低い」に１点をかけて平均しています。

【参考／係数ポイントでみる各項目の散布図】



係数でみると、満足度が低く、重要度が高い「Ａゾーン」には、「(5)高齢者福祉・介護保険」や「(10)産業創出・勤労者福祉」などが位置しており、こうした項目では施策の推進あるいは改善に対する期待・緊急度が高いと考えられます。

満足度と重要度がともに高い「Ｂゾーン」には「(17)防災・危機管理」「(16)消防・救急」をはじめとする安全・安心に関する項目や「(11)学校教育」「(4)児童福祉・子育て支援」など子ども・子育てに関する項目、「(23)上水道」「(24)下水道・生活排水」など生活インフラに関する項目が位置しており、現在までの取組をさらに継続・発展させていくことが期待されていると考えられます。

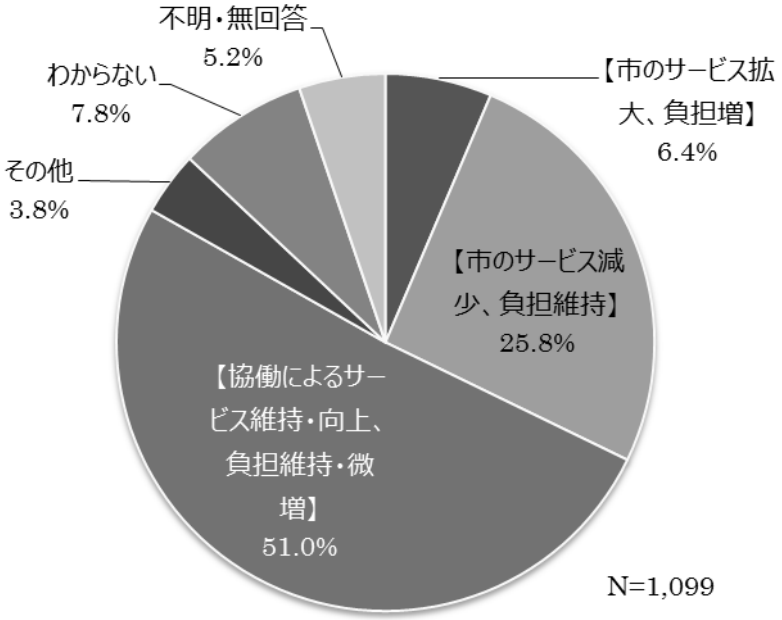
※各項目には、第１次総合計画で示した代表的な内容を例示しています。このため、その施策分野全体（例えば「教育行政全般」）に対する満足度や重要度ではなく、具体的な取組や事業に対する満足度・重要度を示している場合があることに留意が必要です。

※「係数」は満足度においては「満足」に５点、「やや満足」に４点、「普通」に３点、「やや不満」に２点、「不満」に１点の係数をかけ、母数（選択した回答者の数）で割って平均したもの。重要度については同じく「高い」に５点から「低い」に１点をかけて平均しています。

問12　市民のみなさんに対して市が提供するサービスについて、ニーズが拡大する一方、少子高齢化による人口減少や地域経済の低迷など、西脇市を取り巻く社会状況が厳しくなってきています。

このような中、今後の西脇市において、市が提供するサービスと市民の負担のあり方として、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。（SA）

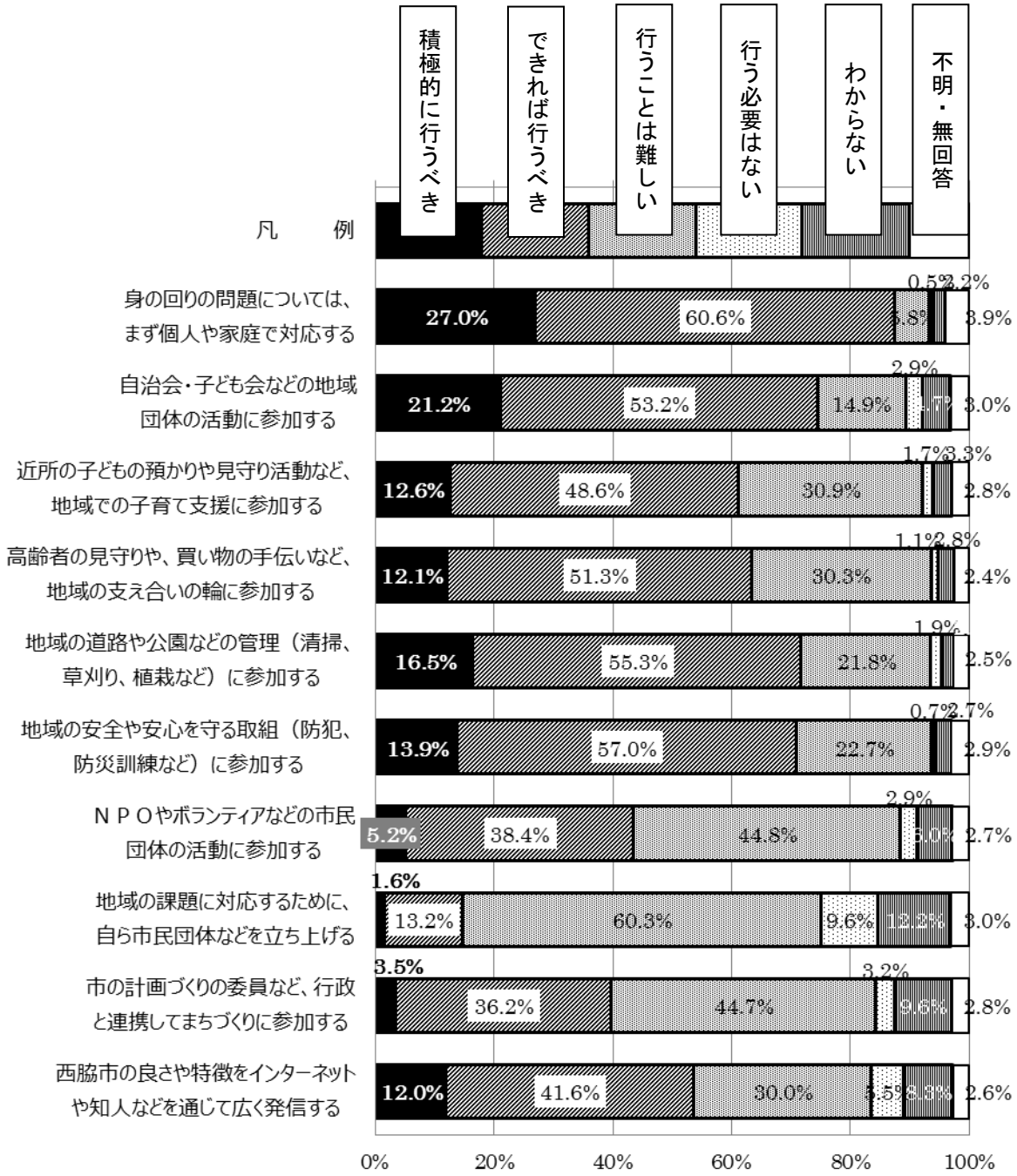
１．市が提供するサービスの充実・拡大を図るためには、税・公的保険料・手数料などの市民負担が増えることもやむを得ない。**【市のサービス拡大、負担増】**
２．市が提供するサービスは、限られた財源の中で必要最小限にし、税・公的保険料・手数料などの市民負担は現状を維持する。**【市のサービス減少、負担維持】**
３．市が提供するサービスのうち、自分たちでできることは自分たちで行い、サービス全体の維持・向上を図り、税・公的保険料・手数料などの市民負担は維持または微増にとどめる。**【協働によるサービス維持・向上、負担維持・微増】**
４．その他（具体的に　　）
５．わからない



単純なサービスの拡大や削減よりも、「協働によるサービス維持・向上、負担維持・微増」を求める意見（560 件 51.0%）が多く、半数を超えています。

さらに「市のサービス減少、負担維持」（284 件 25.8%）が続き、負担増を伴ってでもサービスの拡大を求めるという意見は少数（70 件 6.4%）にとどまっています。

問13　これからの西脇市のまちづくりにおいて、市民自身が行うべき役割について、どのようにお考えですか。１から10までのそれぞれの項目ごとに、あなたの考えに最も近いものとして、当てはまる<u>番号に１つずつ○</u>をつけてください。（SA）



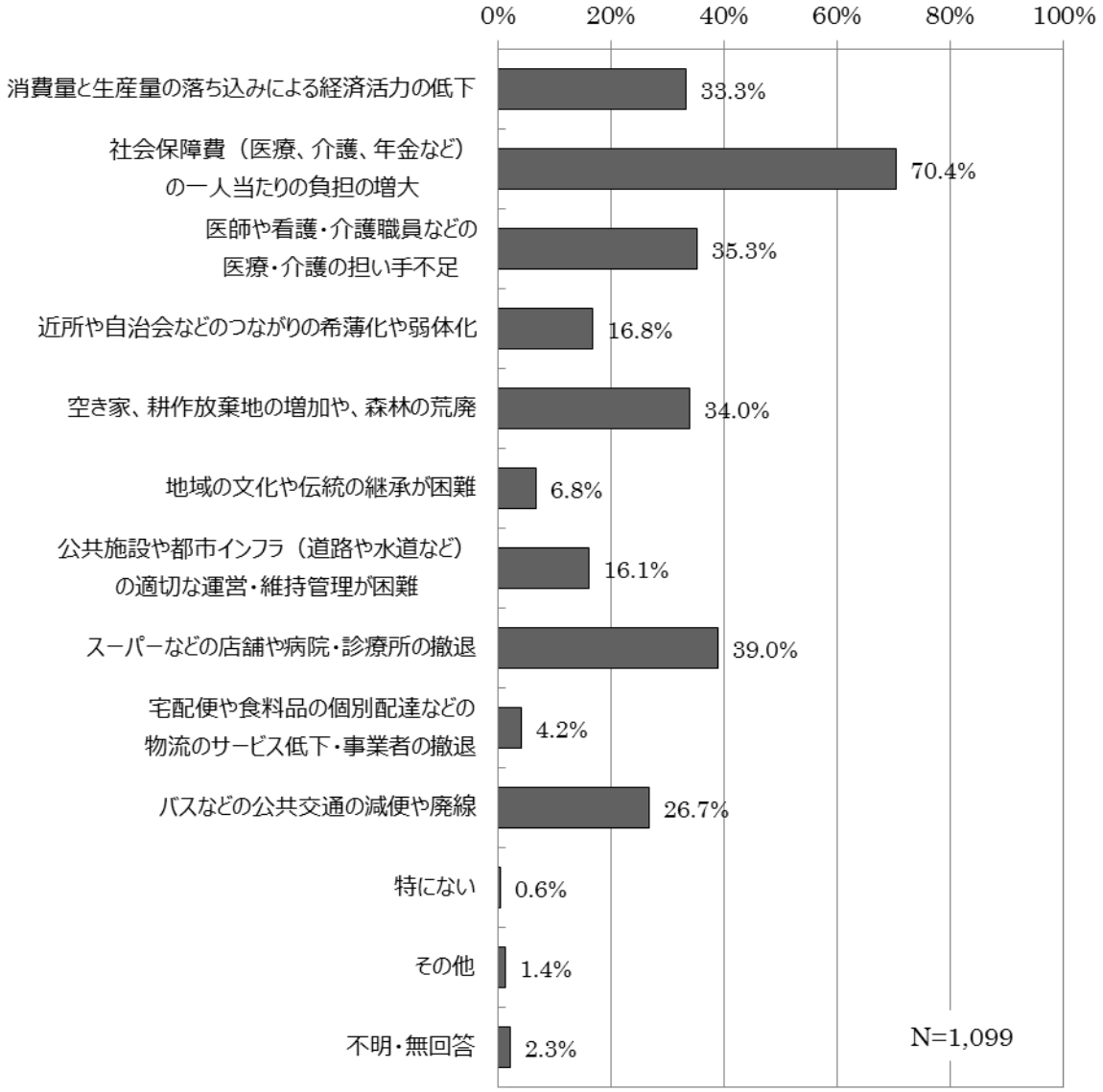
「積極的に行うべき」「できれば行うべき」の合計をみると、「１.身の回りの問題については、まず個人や家庭で対応する」が 87.6%に達するほか、「２.自治会・子ども会などの地域団体の活動に参加する」74.4%、「５.地域の道路や公園などの管理に参加する」71.8%、「６.地域の安全や安心を守る取組に参加する」70.9%などの項目で７割を超えています。

一方、「８.地域の課題に対応するために、自ら市民団体などを立ち上げる」では 14.8%、「９.市の計画づくりの委員など、行政と連携してまちづくりに参加する」は 34.7%にとどまるなど、やや消極的な意見が多くなっています。

４　西脇市の人口減少について

問14　今後さらに人口減少が進むと、次のようなことが課題になると考えられますが、将来に向けてあなたが特に気になることはどれですか。（３つまで）（MA）

１．消費量と生産量の落ち込みによる経済活力の低下
２．社会保障費（医療、介護、年金など）の一人当たりの負担の増大
３．医師や看護・介護職員などの医療・介護の担い手不足
４．近所や自治会などのつながりの希薄化や弱体化
５．空き家、耕作放棄地の増加や、森林の荒廃
６．地域の文化や伝統の継承が困難
７．公共施設や都市インフラ（道路や水道など）の適切な運営・維持管理が困難
８．スーパーなどの店舗や病院・診療所の撤退
９．宅配便や食料品の個別配達などの物流のサービス低下・事業者の撤退
10．バスなどの公共交通の減便や廃線
11．特にない
12．その他（具体的に　　）



人口減少で特に気になることとしては、「２.社会保障費（医療、介護、年金など）の一人当たりの負担の増大」が 774 件（70.4%）と圧倒的に多くの回答者が選択しており、市民の意識・関心が高い項目となっています。

以下、「８.スーパーなどの店舗や病院・診療所の撤退」(39.0%）や「３.医師や看護・介護職員などの医療・介護の担い手不足」(35.3%)、「５.空き家、耕作放棄地の増加や森林の荒廃」(34.0%)、「１.消費量と生産量の落ち込みによる経済活力の低下」(33.3%）などの項目がそれぞれ 3 割を超えており、多様な分野・項目において懸念・不安があることを示しています。

【参考】

アンケートでは設問に以下のような現状・将来推計を伝える記載をしていました。

西脇市の人口は、昭和40年代以降、46,000人程度で推移してきましたが、平成７年以降、少子高齢化や都市部への人口流出などにより人口減少が進んでいます。

また、国による人口推計によると、将来さらに減少していくことが予想されています。

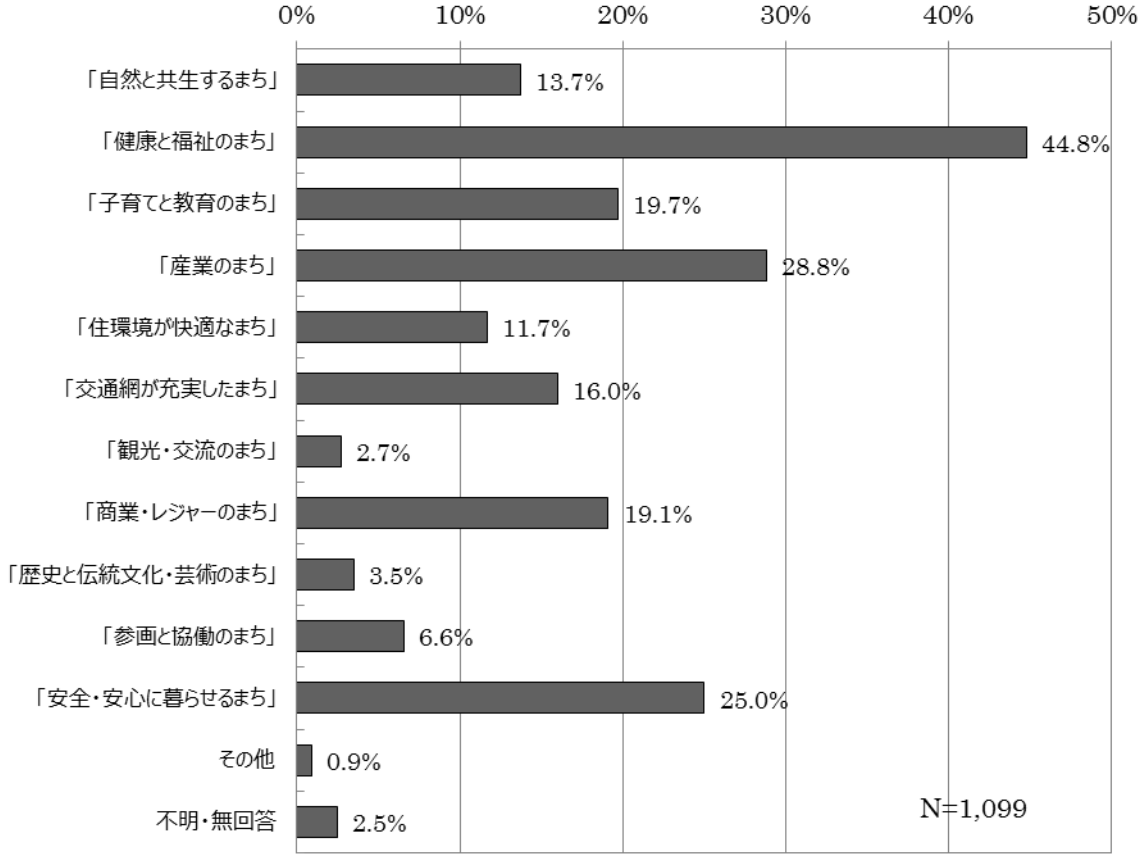
西脇市の人口の推移と将来推計

	H７	H27	H47 推計
総 人 口	46,339 人	40,866 人	33,690 人
０～14 歳	16.7%	12.8%	10.5%
15～64 歳	65.9%	56.1%	53.4%
65 歳以上	17.5%	31.0%	36.2%

５　将来の西脇市のまちづくりのイメージについて

問15　あなたや家族、地域の人が、安心して豊かに暮らせる「西脇市」を実現するために、西脇市は今後どのようなまちを目指していけばよいと思いますか。（２つまで）（MA）

１．山や川、田畑などを生かし、自然を大切にする「自然と共生するまち」
２．子どもからお年寄りまで、健康に暮らせて福祉が充実した「健康と福祉のまち」
３．子育てや教育の環境が充実した「子育てと教育のまち」
４．地場産業や農業、起業・創業など、企業活動が活発な「産業のまち」
５．美しい町並みや公園、暮らしやすい住まいがある「住環境が快適なまち」
６．市内・市外への移動がしやすい道路や公共交通がある「交通網が充実したまち」
７．市外の人との触れ合いや交流を大切にする「観光・交流のまち」
８．ショッピングモールや娯楽施設などに人が集まる「商業・レジャーのまち」
９．古い町並みや伝統文化・芸術を大切にする「歴史と伝統文化・芸術のまち」
10．市民がまちづくりに参画し、人のつながりを大切にする「参画と協働のまち」
11．地域の防災や防犯に力をいれる「安全・安心に暮らせるまち」
12．その他（具体的に　　）



まちの将来イメージでは、「健康と福祉のまち」に期待する回答が 492 件（44.8%）と最も高い比率を示しています。

以下「産業のまち」317 件（28.8%）、「安全・安心に暮らせるまち」275 件（25.0%）、「子育てと教育のまち」216 件（19.7%）が続き、分野別の重要度と同じく、安全・安心や子ども・子育てに関わるテーマに対する期待が高いことを示しています。